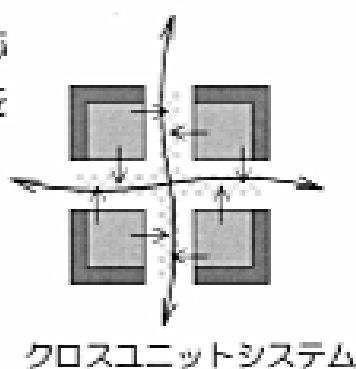


変化 対応 ハーモニックシステム住宅

独立したそれぞれの空間が呼応し、気配を感じながら互いにバランスのとれたハーモニーをかもしだす家

敷地に、同じ広さの室ボリュームを四隅に配置し、媒介となるゾーンでつなぎ合わせる軸組みをスケルトンとするシステムを構築する。

将来の家族構成や生活の変化へ対応させ、楽しさに満ち溢れた雰囲気を作り出す空間を目指している。



■クロスユニットシステム

スケルトン・インフィル (SI住宅) 化をクロスユニットシステムにより完成させ、変化に対応させる

■ローコスト

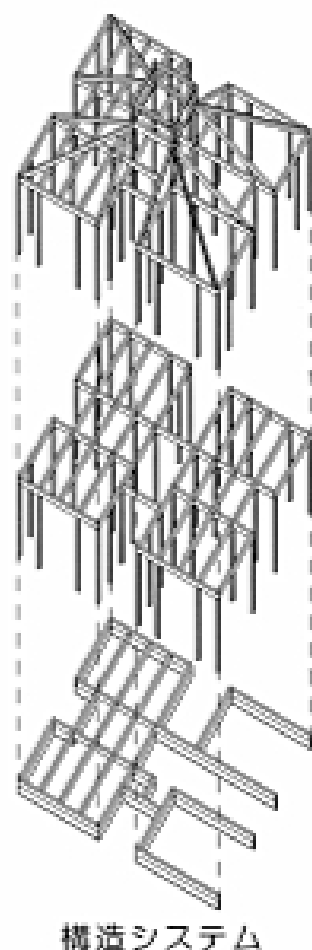
構造・工法・工程・仕上を合理的にシステム化をはかり、ローコスト住宅を実現させる

■県産材の活用

県産材の積極的な活用と無垢の木が仕上のポイントになる部分で採用する

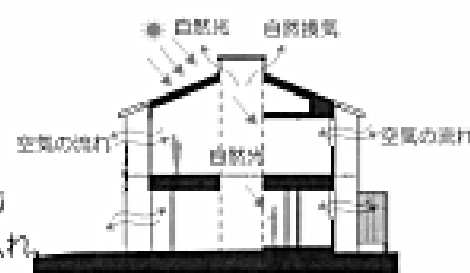
■構造システム

軸組：耐力壁は外周壁を中心に配置
水平剛性は構造用合板
柱：全て管柱とする（接合部補強）
基礎：べた基礎とし、立上りは外周のみ



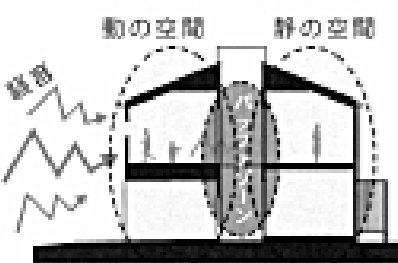
■光・空気の流れ

換気は、2方向の開口部とクロス空間の上下方向にて対応
光は、クロス空間の中に取り入れ、北側居室にも明るい環境を確保



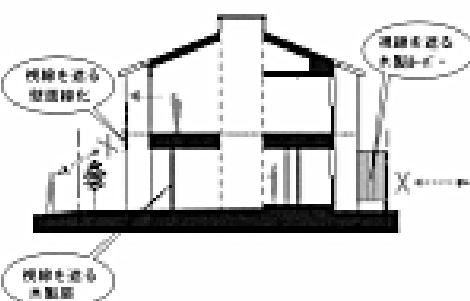
■音への対応

交通量の多い前面道路からの音への対策は、空間の分離とバッファゾーンによる

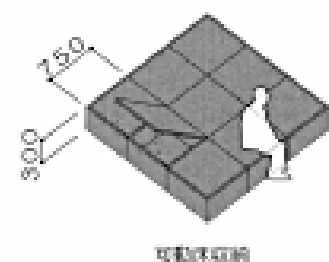


■視線への配慮

外部への開口部をできるだけ小さくし、内側には開く
外部からの視線は、緑化やルーバーで遮る

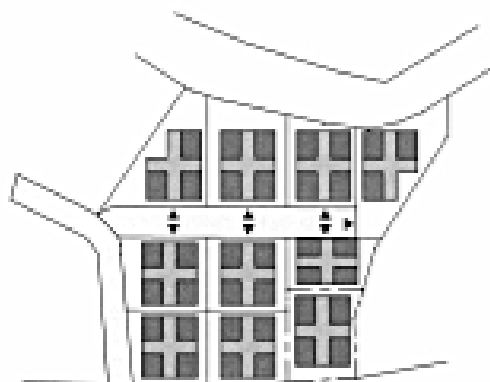


■各室の収納



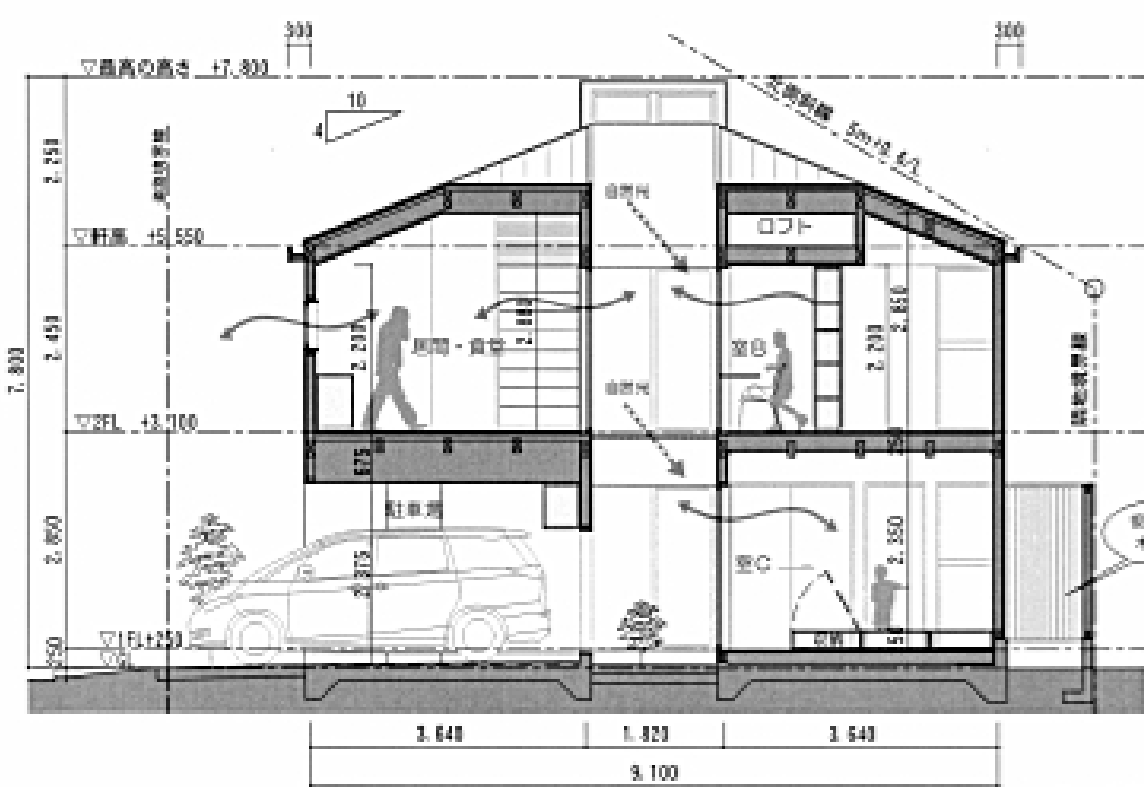
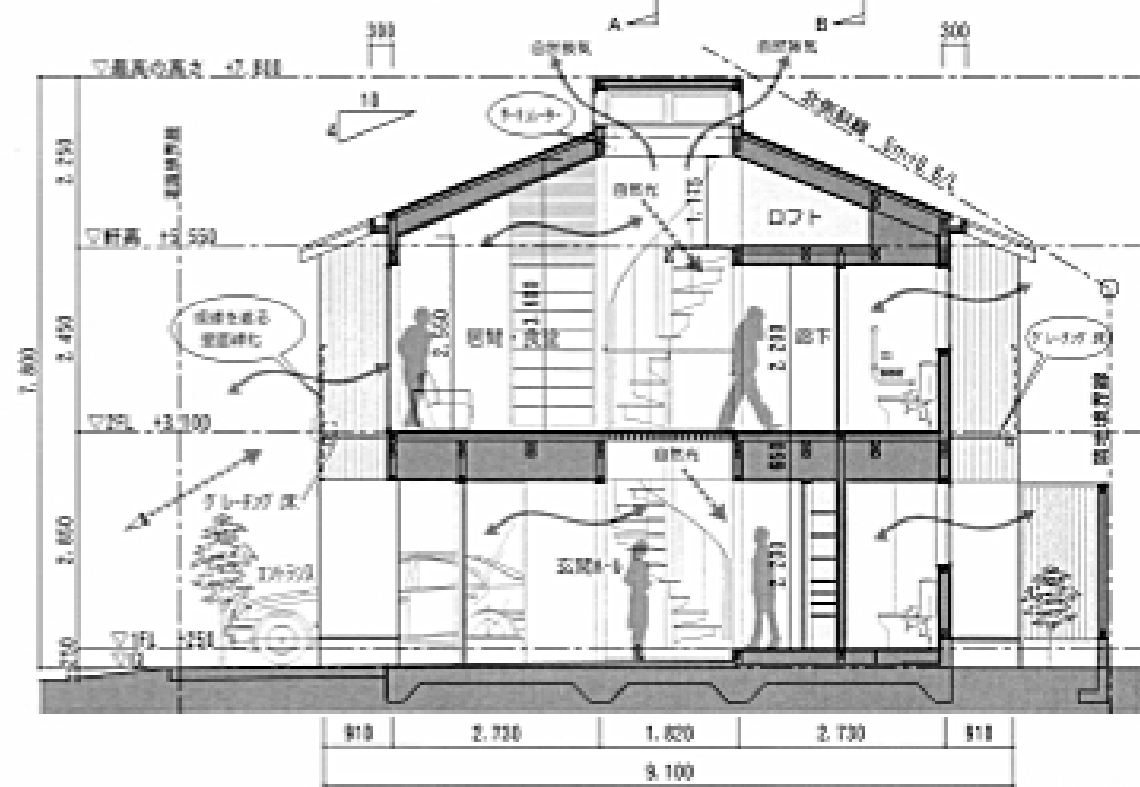
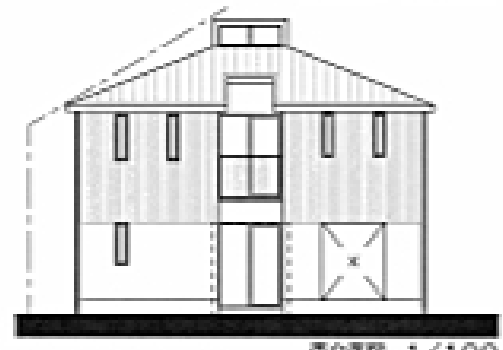
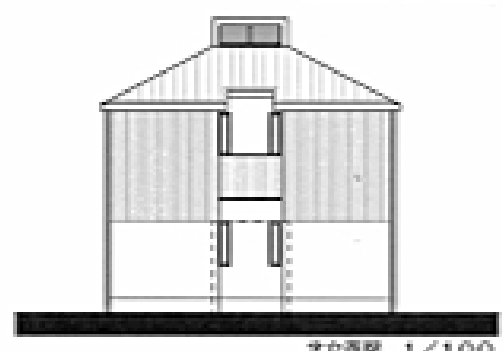
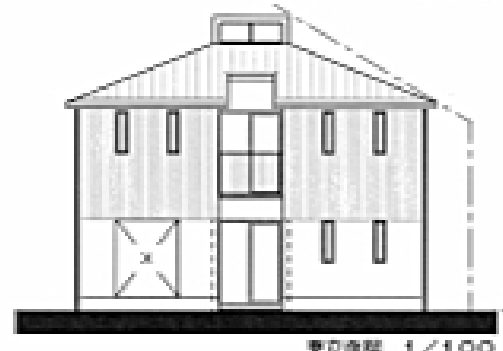
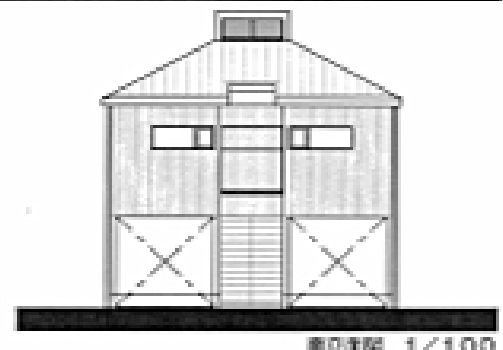
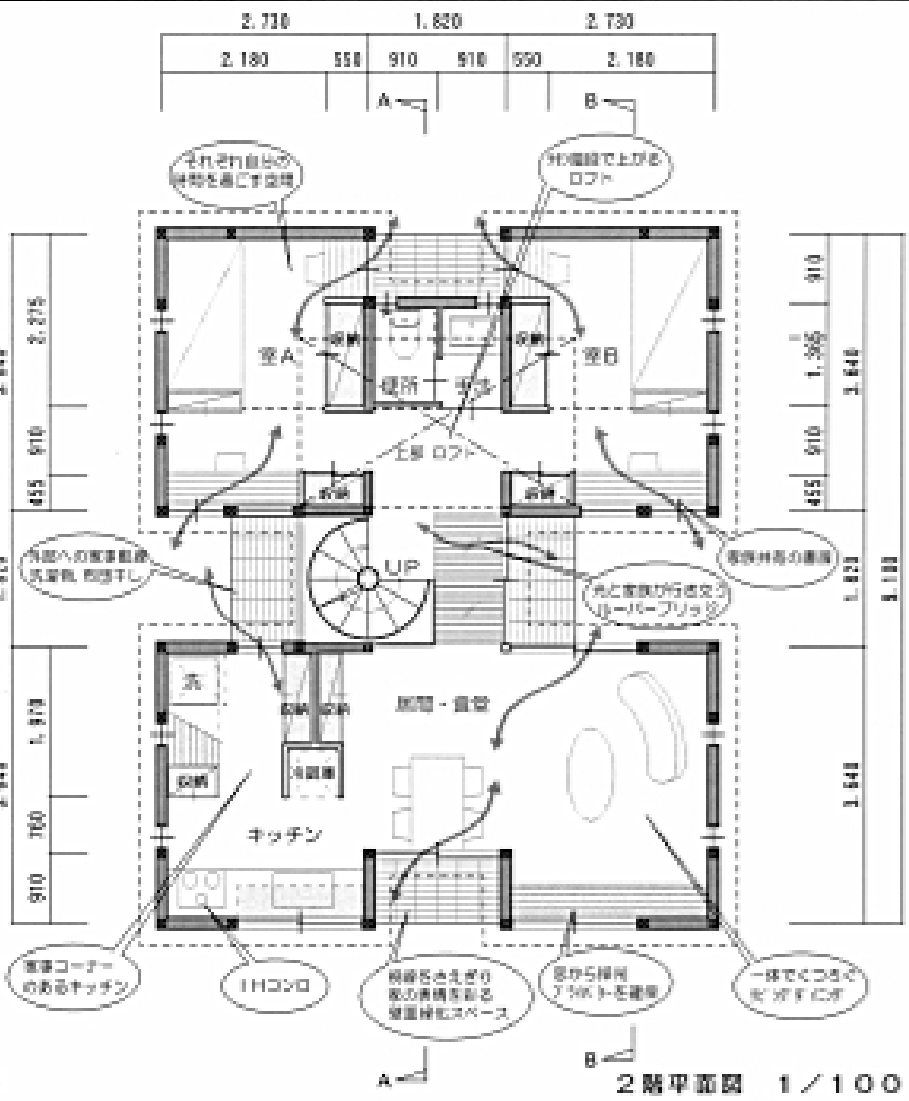
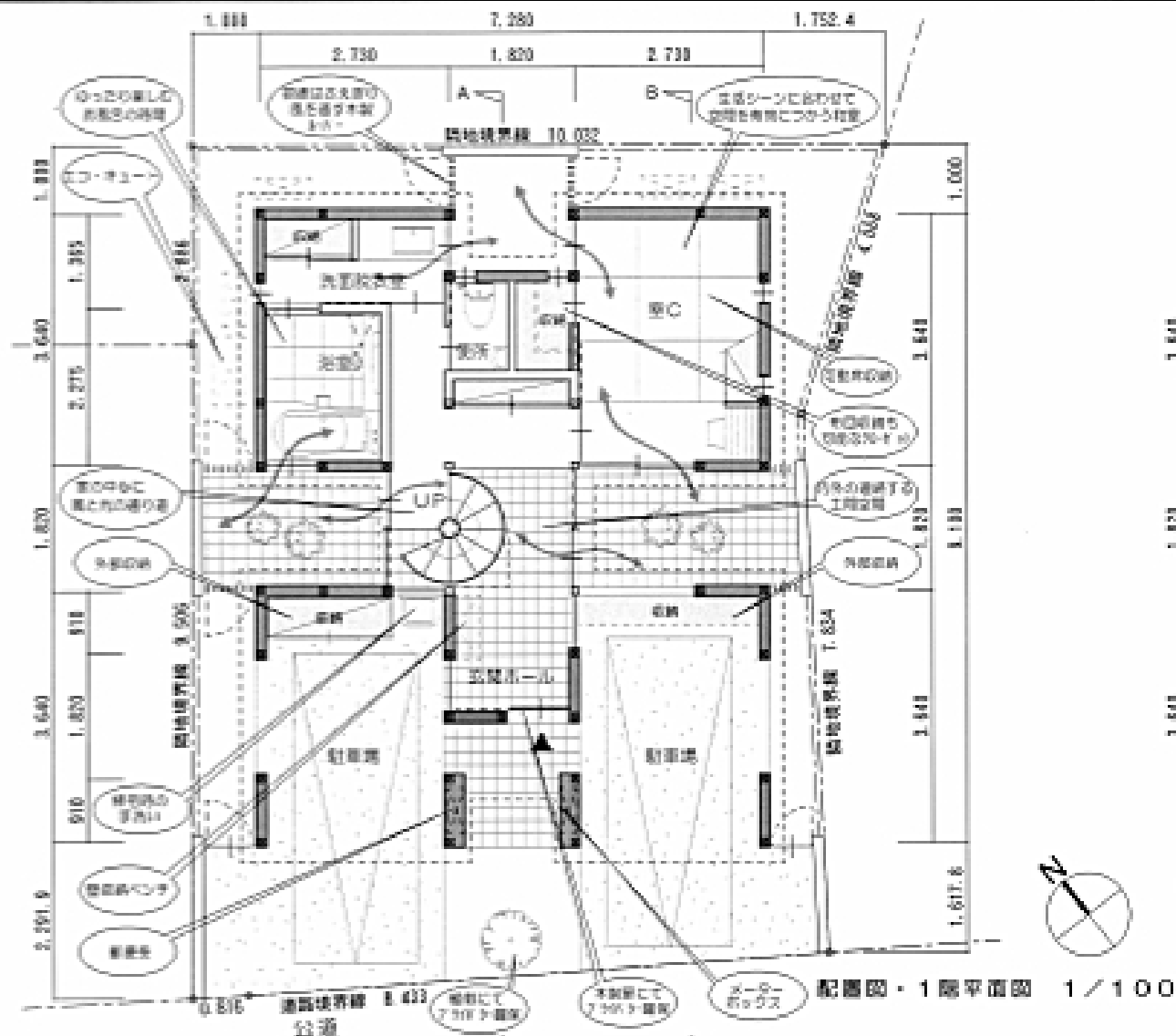
■住宅群の提案

敷地条件に合わせて、クロスユニットシステムを適応させ、街区を整える



■家族構成・生活の変化への対応





敷地面積	110.64㎡
建物面積	110.64㎡
用途地域	居住地域(第一種)住居用地(住)R1(20%・容積率100%)
地区・地味	居住地域(第一種)住居用地(住)R1(20%)
1階床面積	54.82㎡ (延床面積 17.32㎡含む)
2階床面積	54.82㎡
延床面積	109.64㎡
容積率	98.19%
建築費	54.82㎡ (約 28.5%) 約 22.20%

■外装仕上げ
 壁 珪藻土/珪藻土 玄関扉 1+0.20m
 外 珪藻土/珪藻土 小窓扉 1+0.20m
 S2AM7色 2016年最新 17.00㎡

■内装仕上げ
 天井 珪藻土/珪藻土 珪藻土/珪藻土
 壁 珪藻土/珪藻土 珪藻土/珪藻土
 床 珪藻土/珪藻土 珪藻土/珪藻土